



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2020
10.31
No.76

CONTENTS

特集 コロナ禍を生き残るための介護経営
コロナ禍の分析データを介護経営に活かす 2

●合格者の声
●ポイント整理講座のご案内 4

●“新”実践研修実施レポート 6

●今月の「介護ビジョン」
●INFORMATION 7

●イベント掲示板
●WEB説明会のご案内&介護福祉経営士試験のご案内 8

特集

コロナ禍を生き残るための介護経営
コロナ禍の
分析データを
介護経営に活かす



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3553-2896 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 諄
〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号
S-GATE八丁堀9階

コロナ禍の分析データを 介護経営に活かす

コロナ禍が介護業界に与える影響は確かに大きい。しかし、具体的にどんな影響が生じているのかを分析し、対策を模索するプロセスはまだ始まったばかりだ。本特集では株式会社やさしい手代表取締役社長香取幹氏(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会関東支部理事)に、コロナ禍における情報収集の重要性と、株式会社やさしい手で実際に行っている取り組みについて伺った。

独自の取り組みで 得られる情報こそが重要

株式会社やさしい手では2020年9月、自社のサービス提供事業所のある地域の医師(内科医、整形外科医)、利用者家族、自社のサービス提供責任者を対象に新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査を実施した。

今回の調査にあたっては調査対象の属性(年齢、性別、雇用形態、収入等)について詳細な項目を設け、どういった属性の対象者がどのような傾向をもつのかについて細かく分析がされており、マーケティングリサーチとしての側面が考慮されたつくりとなっている。

例えば、「全体的に来院を控える方が増えている」、「患者またはその家族の希望により来院を控えている方がいる」という利用者の来院に関する質問に関しては、「あてはまる」または「ややあてはまる」という回答が多くの「医師」から寄せられている。しかし、その「医師」の属性をより細かく分析すると、「あてはまる」という回答をしているのは開業医をはじめとする実際に患者と接する機会の多い医師であり、大病院の経営者層の医師は「あてはまらない」という回答をしている。

こうした結果から、所属する病院の規模、勤務形態や立場によって現状認識に差異が生じているという推測ができるという。

アンケートから見る 在宅ケア市場の変化

香取氏によれば今回のアンケート調査の大きな目的の一

つは「コロナ禍における在宅利用者の動向を把握すること」だという。同社は、居宅介護サービスを基幹事業とする法人なので、在宅利用者が増加傾向にある現状を分析し、その背景を明らかにすることで、将来的な経営計画立案に活かすことをねらいとしている。

実際に分析を進めていくと、「病院や医師から通院を控えるように言われている」と回答した利用者家族は、訪問診療・訪問看護を利用しているケースが多い。自社のサービス提供責任者からの回答からも同様の傾向が見られるという。

こうした結果を香取氏は「一定の利用者やその家族が訪問診療・訪問看護の有効性やコロナ禍における活用の仕方を理解し始めている」と分析する。

また、「訪問診療・訪問看護に切り替えた患者が増え来院が減っている」と回答している現場の医師も多く、「通院をしなくなった患者が訪問診療、訪問看護に移動している」と認識していることも見えてきた。

香取氏によれば「在宅ケア分野が新しい市場(マーケット)を捉えて成長し始めており、今後介護分野にも影響を与える可能性が出てきている」という。

また、こうした変化に適応しきれていない医療機関(病院・診療所など)の存在も見えてきているようだ。これまで行ってきた病床稼働率中心の経営手法のままでは新しい市場に流出した利用者とのあいだにミスマッチが生まれる可能性も考えられるという。

「病院経営ための高度な知識やテクニックをお持ちの院長も、こと在宅になるとこれまでの経験が十分に活かしきれず、収益に結びつかないケースもあるのではないですか」と香取氏は語る。

安定した介護経営を行うには 何が必要か？

香取氏は今回のアンケート調査について自社の市場の現況を把握するための「マーケティングリサーチ」と、地域全体の健康を守るための「公衆衛生」との中間的な調査と位置付けている。

このような視点で収集したデータを活かしながら介護経営を行っていくことが、コロナ禍においても収益率維持や経営の安定性に繋がっていくという考え方だ。

あわせて重要な要素として挙げるのが、感染症対策のマネジメントである。

現在、株式会社やさしい手では「ばいたるイルカ」システムを運用している。

全職員と利用者のバイタル情報を一括管理し、閾値をオーバーしている対象者がいればアラートが表示される仕組みである。

仮に発熱や濃厚接触などが確認された場合も、どう対応していくかをシステム上で管理していく。

自身の体温を管理者に 開示 非開示

非開示を選択していても、37.5℃以上の場合は管理者へ開示されます

体温

36.0

SPO2

あてはまるものにチェックを入れてください。

発熱以外の症状	味がわからない	<input type="checkbox"/>
	匂いがわからない	<input type="checkbox"/>
喀痰・咳嗽	咳やたんが、ひどくなっている	<input type="checkbox"/>
息苦しさ	日常生活の中で息苦しさを感ずる *動いた際に息苦しいか	<input type="checkbox"/>
全身倦怠感	起きているのがつらい	<input type="checkbox"/>
嘔気・嘔吐	嘔吐や吐き気が続いている	<input type="checkbox"/>

「ばいたるイルカ」の管理画面

「クラスター予防のために早期発見、早期PCRを優先課題としています。感染の疑いのある対象者には接触関連図なども書き込んでいただいでどこの職員がどういった形

で接触したのか、利用者がどのような形で関わっているのかを把握するための仕組みづくりをおこなっています」と香取氏。

加えて、従業員の業務内容をWEB上で管理が行えるシステムの構築と遠隔で作業を行うための環境を整えており、仮に感染者が出た場合もスムーズに在宅勤務へ移行し、サービスを運用ができる仕組みづくりを行っているという。

「現在行っている取り組みは、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金などを原資にすすめています。こうした助成金を活用して、感染疑い者の管理、PCR受検、環境整備、ICT導入をいかに進めていくかが今後重要になってくるでしょう。コロナ禍の今、介護経営の必要性が再確認されています。学術的な観点から見ても、今後、介護経営学はより発展し、価値が高まっていく時代になっています。介護福祉経営士の皆さんにはぜひ研鑽を重ね、活躍していただきたい」と香取氏は語る。

今後コロナ禍において安定した介護経営を続けていくためには「情報収集」「組織運用システムの改善」「ICT導入」といった要素を経営戦略のなかにいかに組み込んでいけるかがキーポイントになると言えそうだ。

今回取材で取り上げた株式会社やさしい手の取り組みなどは、香取氏が理事を務める日本介護経営学会が11月22日(日)に開催する第16回日本介護経営学会学術大会でも紹介される予定だ。

より学びを深めたいと考える介護経営士にはぜひ参加を検討していただきたい。

Profile



香取 幹

株式会社やさしい手 代表取締役社長
一般社団法人
日本介護福祉経営人材教育協会
関東支部理事

千葉大学を卒業後、平成18年よりやさしい手社代表取締役社長に就任し現在に至る。日本介護経営学会理事、日本在宅介護協会常任理事、同東京支部支部長 など

社会福祉法人 池上長寿園

経営本部 経営企画課 課長補佐／経営支援室

比嘉 充吉さん

経営本部 総務課 課長補佐／経営支援室

後藤 美砂子さん

経営本部 人財課 課長補佐・総務課 課長補佐／経営支援室

佐藤 健一さん



今回お話を伺った皆さん(左から比嘉さん、後藤さん、佐藤さん)

社会福祉法人池上長寿園は1962(昭和37)年、戦後の混乱期における高齢者の支援を目的として設立されました。現在は、「未来への創造 歴史を紡ぎ”今”に挑戦する」という経営理念の下、総合的な高齢者福祉事業を展開。大田区指定管理者として多くの区立施設を運営するとともに、法人独自としての養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンター・居宅介護事業・定期巡回の経営等、全33の高齢者福祉事業を展開しています。

今年4月より運用が開始された「経営支援室」では、「介護福祉経営士」が室員要件の一つとして設定されています。今回はその「経営支援室」に所属されている介護福祉経営士の皆さんにお話を伺いました。

——経営支援室とはどのような部署なのでしょう？

佐藤 経営基盤の確立を目的に実施された組織改編のなかで、新しく設けられた部署となります。経営支援室の室員は、その新組織編成を検討する際のプロジェクトメンバーでした。

比嘉 社会福祉法人にとって事業を継続していくことは大きな命題です。事業の持続可能性を高めるためには、普段から計画を実行し、PDCAを回していくことが必要となります。我々の法人の課題として進行管理・マネジメントがスムーズに行えないという点がありました。その課題に対応することが経営支援室に求められる機能の一つであり、介護福祉経営士の資格取得を室員要件に組み込んだのもそういう背景があります。

——経営支援室での活動のほかに、普段皆さんはどのようなお仕事をされているのでしょうか？

佐藤 私は人財課と総務課の課長補佐を兼務する立場で働いています。人材採用(確保)、人材育成、人材定着など、いわゆる「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」でいうところの「ヒト」の部分にかかわる業務が中心です。

後藤 総務課の課長補佐をしています。給与と、会計、介護

報酬請求など事務業務が中心です。

比嘉 私の所属する経営企画課は横断的な視点で法人内の情勢の把握や分析を行い、全体戦略を組み立てていく部署となります。佐藤さん、後藤さんもふくめて各自が経営支援室を兼務しているため、企画、人事、会計管理の担当者が横断的に連携することができており、支援室がうまく機能していると感じています。

——介護福祉経営士の資格を取得することを通じてどんな経験が得られましたか？

佐藤 介護現場での経験があったため、介護福祉士や社会福祉士といった国家資格の学習と通じる部分については、良い復習になったと感じています。一方で、経営的な視点に基づいた「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の側面についての学びは非常に新鮮に感じました。

後藤 制度部分について法改正の時期やその時代背景などをあわせて学ぶことができました。基本中の基本を再確認できたなと感じています。

比嘉 時代背景と制度との関係など、現場経験を通じて知っていたはずの知識も、学習してみると思わぬ気づきがありました。また、過去を振り返ることによって自分のなか

に新たな視点を獲得することができました。それを今後の活動のなかで活用していきたいと思えます。

——介護福祉経営士の資格を業務のどんな場面で活かしていますか？また、今後どのように活かしていきたいですか？

佐藤 介護福祉経営士という資格を共通言語として、こんなにコミュニケーションがとれるとは思っていませんでした。資格を一つのツールとして連携のきっかけにしていけることができていると思えます。また、私は経営支援室での業務経験を通してとても貴重な機会をいただいていると強く感じており、だからこそ、なにか成果を形に残したいと考えています。そのためにも今後も「マネジメント」を重要なキーワードとして意識していきたいと思えます。

後藤 多職種が集まってコミュニケーションをとる際に、勉強したことが活きていると感じています。事務的な視点からの言葉と、現場的な視点からの言葉、この二つをつなぎ合わせるために必要な学びだったと思えます。そして、今後もそうした知識はずっと積み上げなければいけないものなのだと感じています。現在はマネジメントをより深く学ぶために1級資格の取得も視野に入れています。

比嘉 基礎的な知識を学んだことで「それはなぜか？」と問

われた際に答えが用意できるようになったことがとても大きいです。所長クラスが集まるような会議の場で、ファシリテーションがスムーズに行えるようになったと感じています。

また、私は現在、法人の変革期を迎えていると感じています。介護福祉経営士として我々が一つのロールモデルを示すことで、組織に風穴を開け、しっかりとしたマネジメントを行える組織風土につなげていきたいと考えています。

——介護福祉経営士に向けてメッセージをお願いします。

比嘉 超高齢社会は国民全体で考える「他人ごとではない、社会問題」だと思えます。だからこそ、さまざまな業種・業界の方が介護について考え、意見を交わしたり面白い企画を考えるきっかけとして介護福祉経営士資格が活かせるのではないのでしょうか？ 介護と経営を組み合わせることで介護福祉経営士というイノベーションが起きたように、介護福祉経営士をきっかけに介護と全く別の業界を組み合わせることでさらなるイノベーションを起こすことができれば…と考えると、とてもワクワクしますね。

後藤 福祉の職種ではない人にもぜひ資格を取得して欲しいと思えます。皆が協力し合って良い社会にしていこうという取り組みのきっかけになる資格だと思えます。

WEB受講
開始!!

「介護福祉経営士2級」資格認定試験対策 ポイント整理講座のご案内

自宅や
職場からも
受講できます!!

WEBでの受講*と会場での受講どちらでもお選びいただくことができます。

※注意 WEB受講ではWEB会議アプリ「ZOOM(ズーム)」を使用いたしますので、ZOOMをご利用いただける環境が必要となります。

とにかく最短で要点
のみを押さえたい!

1日講座

介護業界関係者など、すでに基礎知識がある方にオススメの短期集中型の講座です。1日で試験合格に必要なポイントを学ぶことができます。

日程 2020年11月14日(土) 9:30~17:30

■講師

馬場博氏(一般社団法人C.C.Net専務理事・チーフアドバイザー)

■受講料

1日講座:15,000円(税込) 2日講座:22,000円(税込)

■持参物

「介護福祉経営士テキスト基礎編(全10巻)」(株式会社日本医療企画刊/1セット24,100円(税込))をテキストに使用します。各自お買い求めいただきご持参ください。または、当日販売も受け付けております。お申し込みの際にどちらかお選びください。

基礎からしっかりと
学びたい!

2日講座

これから介護業界の基礎知識を学ぼうと考えている他業界の方にオススメの講座です。2日に分けて丁寧に介護の基礎知識と試験対策ポイントを解説します。

日程 【1日目】2021年2月20日(土) 9:30~16:30
【2日目】2021年2月21日(日) 9:30~15:30

■申し込み方法

株式会社日本医療企画ホームページよりお申し込みください。

<https://www.jmp.co.jp/seminar/kfk/class2/hattiyobori/>

■お問い合わせ

株式会社日本医療企画

TEL:03-3553-2885 FAX:03-3553-2886



※新型コロナウイルスなどの影響により、開催日程の変更・延期、開催方式の変更などが生じる場合がございます。ご了承ください。

介護福祉経営士のスキルアップのための 新しい学びの場

介護福祉経営士実践研修は、1級の筆記試験合格後に「介護福祉経営士2級」から「介護福祉経営士1級」への等級変更の要件となっている研修である。例年、協会が認定した受講地・実施施設で行われ、講義や視察、演習などを行ってきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みWEBを利用した研修を行うこととなった。

2020年10月11日(日)、一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は2020年度実践研修を実施した。

実践研修は今年度よりWEBを利用した新方式で開催。WEB会議アプリZoomを使用し、講座やグループワークなどを行う。

全3回にわたって研修が行われ、研修で学んだ内容を元に事後課題を作成・提出し、審査を経て「介護福祉経営士1級」に認定となる。

第1回の研修では13名の受講者を2グループに分け、グループ共通の課題として実在する法人の経営資料を元に経営分析を行った。

監修した宮島渡氏(日本介護福祉経営人材教育協会北信越支部長、日本社会事業大学特任教授)による、経営分析の概念や手法に対するレクチャーが行われ、後半はグループごとに分かれてのグループワーク

を実施した。各グループにはアドバイザーとして介護福祉経営士1級資格者の有志も参加している。

グループワークでは受講者から、分析の結果見えてきた法人の課題として、「人件費率の高さ」や「事業ごとの収益のアンバランスさ」といった内容が挙がったのに対し、アドバイザーからは「一般の企業と社会福祉法人の収支モデルは切り分けて考えるべき」といったアドバイスなども行われ、活発な意見交換が行われた。

今回はさまざまな業界から受講者が集まっており、介護業界からの参加者にとっても、介護業界外の参加者にとっても刺激的な学びの場となった。

実践研修に対するお問い合わせは
協会ホームページより承っております。
<http://www.nkfk.jp/otoiawase.html>



2020年度実践研修の主な流れ

日 程(予定)	研 修 内 容
第1回 2020年10月11日(日)	共通課題として実在する社会福祉法人の経営資料を使用し、経営分析の手法とプロセスを学ぶ
第2回 2020年11月22日(日)	グループごとに分かれ、選択課題として用意された経営事例の課題・改善策を検討し、経営分析の手法とプロセスを学ぶ
第3回 2020年12月13日(日)	グループごとに経営分析結果と改善案を報告
事後課題の提出 2021年2月1日(日)	研修をとおして、学んだ手法を研修受講者自身が所属する組織に当てはめ、課題を抽出。具体的なアクションプランを策定する

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

ポスト・コロナの感染対策 無理・無駄のない徹底をめざす

感染対策の徹底を行ううえで、感染症に対する正しい知識の習得と、スムーズに実行するための体制が整っていないと、それらができていなければ職員に過度な負担を強いたり、余計な費用をかけたうえに、感染対策として無意味であったということもつながりかねない。介護現場の感染対策の徹底を阻害する要因を考えるとともに、正しい対策を徹底するための方策は何かを探る。

【緊急アンケート】

介護現場における感染対策の課題とは？

解説 正しい知識の定着こそ感染対策の第一歩

向田朋之(株式会社アトラス代表取締役/感染症ドットコム事務局長)

Case study 1

平時からの感染への意識の高さが非常時の対応力の差となる
有限会社ヘルスケアサービス

Case study 2

介護の質を高めることこそが感染防止対策を行う目的
特別養護老人ホームたちばなの園白糸台

特別寄稿 ユニフォームの見直しから始める
感染対策と業務改善

菅沼蔵人(株式会社ソーイング・ボックス 専務取締役/ハノイ大学 非常勤講師)

第2特集

発想力が鍵！ 戦略の転換で機会をつかめ

2020年11月号

(2020年
10月20日発売)



詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円(税込)
- 定期購読料: 15,552円(税込)
- ※ 会員価格は12,444円(税込)

INFORMATION

「第5回全国介護福祉総合フェスティバル」開催中止について

さて、本会主催の「第5回全国介護福祉総合フェスティバル」につきましては、東京会場で11月28日(土)、29日(日)に開催するべく準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が収束する目処が立たず、誠に心苦しいのですが開催を見送ることといたしました。

皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、次回は2021年11月に仙台市にて開催を計画しております。

コロナ時代の新しいフェスティバルのカタチを模索してまいります。引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
東京都中央区八丁堀3丁目20番5号 S-GATE八丁堀9階 TEL.03-3553-2896

介護福祉経営士が知っておきたい！ イベント掲示板

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

特定非営利活動法人 日本介護経営学会

「第16回 日本介護経営学会学術大会」

Withコロナ、さらには、感染拡大の第2・3波を念頭に置き、介護事業者が「今」取り組むべきこととして、業務改善や働き方改革により「介護事業の生産性をいかに高める」をテーマに、生産性向上モデル事業や、Withコロナ時代に求められるソリューションなどについて学術発表が行われる。

■テーマ：「withコロナ時代を生き抜く！～KAIZENによる人材育成と介護のデジタル革命～」

■日時：2020年11月22日(日)

■会場：大塚商会本社(〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4)

※WEB同時配信(ZOOM)

■参加費：【会場参加】一般：4,000円 学生：2,000円

【WEB参加】一般：3,000円 学生：1,000円

お問い合わせ

第16回 日本介護経営学会学術大会事務局
(株式会社やさしい手内)

Email: info@bmltc.jp TEL: 0120-834-707

一般社団法人 ユニバーサル アクセシビリティ評価機構

第4回地域包括ケアのための未来型テクノロジー研究会 Future Technologies for Integrated Care Research Network (FTIC)

「高齢者の生活の質向上」を目指す新しいツールを希求し「地域医療介護の最前線を支える関係者」の負担軽減に寄与する未来志向の仕組みを切望する実践家や研究者と、自らの研究や事業を「本当の現実社会のなかで役立つものにしたい」と考えているICT/AI/ロボット研究者開発者や企業家との出会いの場として開催されている研究会。

■日時(予定)：2020年12月6日(日) 18:00～

■開催方法：オンラインにて開催

※詳細は一般社団法人 ユニバーサルアクセシビリティ評価機構

ホームページにてご確認ください。

<http://www.uaeo.or.jp/ftic/>



「介護福祉経営士」 資格認定試験

全国200会場で、受けたい日時に受験が可能 その場で合否が判定されます！

「介護福祉経営士」資格認定試験は、CBT方式で実施しています。

試験会場は全国約200会場から選ぶことができ、自分の予定に合った日程、時間に受験することができるようになりました。これにより、より多くの方々に受験機会が広がり、介護福祉業界のマネジメント人材として活躍していただけるよう、受験しやすい役に立つ教育システムとして進化しています。

受験方法や受験申込については、本会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にてご確認ください。

CBT方式とは……

CBTとはComputer Based Testingの略称で、問題用紙やマークシートなどの紙を使わず、パソコンで受験する方式のテストです。特定の受験日に一斉実施する紙ベースの試験とは異なり、全国の会場にて随時(毎日※)受験が可能となります。受験者は、会場と日程をWeb上で予約し、当日は会場のパソコンで受験します。

※年末年始を除く。試験会場によって異なります。【ご注意】新型コロナウイルス感染症の影響により、使用できる会場に制限が生じる場合があります。



介護福祉経営士 WEB説明会のご案内

このたび、一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会では、WEB上での説明会を開始いたしました。

これまで、当協会では介護福祉経営士の受験を検討する法人などを直接訪問し「出前説明会」を開催してきましたが、今後はWEBも活用しながら介護福祉経営士の普及に努めてまいります。

「介護福祉経営士」について、資格取得のメリットや勉強方法など様々な情報を距離・場所の制約なく入手していただける機会となりますので、ぜひご活用ください。

お申し込みは当協会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/demae.html>)より承っております。

